

北陸フェムテックネットワーク設立総会のご案内

日 時：2025 年 5 月 23 日(金) 10:00～12:30

会 場：ホテル日航金沢 3 階「孔雀の間 C」【オンライン併用】

フェムテックは、女性の健康やライフステージに関わる課題をテクノロジーで解決する新たな産業分野であり、誰もが生涯を通じて健康で自分らしく生きるための支援ツールとして注目を集めています。少子高齢化や生産年齢人口の減少が加速する中、誰もが働き続けやすい社会の実現は、持続可能な地域づくりにとって重要なテーマです。こうした背景を踏まえ、当財団では2023年度より研究会を開催し、企業・医療・研究・行政などと議論を重ねるとともに、フェムテックの普及啓発に取り組んでまいりました。そして2025年度、フェムテックを起点に社会課題の解決と新たな産業・雇用の創出を目指すプラットフォームとして「北陸フェムテックネットワーク」を設立します。

本ネットワークは、北陸地域をフェムテック産業のリーディングモデルとすることを目指し、健康課題等に対応した事業の創出と、その社会実装を地域全体で進めていくことを目的としています。

本設立総会では、これまでの活動の成果を共有するとともに、女性の生き方や社会参画に関する豊富な知見を有する講師をお迎えし、健康と地域社会の未来について、多面的な視点から考える機会とします。

プ ロ グ ラ ム

10:00～ 開会挨拶	一般財団法人 北陸産業活性化センター 専務理事 東田 隆一
10:05～10:20 事業紹介	「北陸フェムテックネットワーク」について 芝浦工業大学 准教授・北陸フェムテックネットワーク 会長 平田 貞代 北陸産業活性化センター 特別参与・北陸フェムテックネットワーク 副会長 福井 幸博 ビジョン、2025年度事業計画・活動概要・協議会会則 等
10:20～11:20 記念講演	演題：「女性活躍がウェルビーイングの鍵」 講師：昭和女子大学 総長 坂東 眞理子 氏 【要旨】 女性のウェルビーイングは家族や社会のウェルビーイングにつながります。女性は自らの能力を発揮できれば自己肯定感が増し、人生をポジティブに受け入れることができます。そうした女性は周囲に対して肯定的な働きかけを行い社会にも積極的に関わるとされています。そのためには社会的な環境－制度や慣習－だけでなく、個人として女性が健康で力をもっていることが大事です。特に身体的な健康と精神的な健康は関りが深く、両方の健康推進が社会と女性のウェルビーイングに不可欠です。
11:20～11:30 休憩	
11:30～12:30 パネルディスカッション	「フェムテックで描く持続可能な地域の未来」 モデレーター 事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏[北陸フェムテックネットワーク 副会長] パネリスト 昭和女子大学 総長 坂東 眞理子 氏 芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏 [北陸フェムテックネットワーク 会長] 東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏 [同 副会長]



【お申込み・お問い合わせ事務局】

一般財団法人北陸産業活性化センター TEL：076-264-3001

参加申込フォーム：<https://forms.office.com/r/3BWcvmiiWy?origin=lprLink>

※5月20日(火)までに、参加申込フォームよりお申し込みください。



主催：一般財団法人 北陸産業活性化センター

後援：とやまヘルスケアコンソーシアム、石川県次世代ヘルスケア産業協議会、福井しあわせ健康産業協議会、一般社団法人 日本フェムテック協会、北陸経済連合会

協力：中部経済産業局電力・ガス事業北陸支局

記念講演 講師紹介

昭和女子大学 総長 坂東 眞理子 氏

略歴: 富山県生まれ。1969年 東京大学卒業。総理府入省(青少年対策本部、婦人問題担当室、老人対策室、内閣総理大臣官房参事官、統計局消費統計課長などを経て男女共同参画室長)。1995年 埼玉県副知事。1998年 ブリスベン総領事。2001年 内閣府男女共同参画局長。2004年 昭和女子大学 女性文化研究所長。昭和女子大学大学院 教授。2007年 昭和女子大学 学長。2014年 学校法人昭和女子大学 理事長。2016年～昭和女子大学 総長(現在に至る)。

『女性の品格』『70歳のたしなみ』『幸せな人生のつくり方』『女性の覚悟』『思い込みにとらわれない生き方』『与える人ー「小さな利他」で幸福の種をまく』『人は本に育てられる』など著書多数。



パネルディスカッション 登壇者紹介

モデレーター

事業構想大学院大学 特任教授 西根 英一 氏

〔北陸フェムテックネットワーク 副会長〕

略歴: ヘルスケアビジネスとヘルスプロモーションのプロジェクトデザインの専門家として、企業案件と自治体事業と学術研究の3領域で指揮をとる。

大塚グループ、電通グループ、マッキンゼー・ワールドグループ(最高知識責任者)を経て、株式会社ヘルスケア・ビジネスナレッジ 代表取締役社長、事業構想大学院大学 特任教授、千葉商科大学サービス創造学部 特命教授、北海道科学大学薬学部 教授(非常勤)。

事業詳細 <https://www.healthcarebiz.jp/>

研究分野 <https://researchmap.jp/nishine>



パネリスト

昭和女子大学 総長 坂東 眞理子 氏

芝浦工業大学 准教授 平田 貞代 氏

〔北陸フェムテックネットワーク 会長〕

略歴: 東京工業大学博士(学術)。富士通株式会社にて国内外の情報システムの構築、法政大学 客員准教授・芝浦工業大学 准教授・東北大学 特任准教授として技術経営学の研究・教育、SCSK 株式会社 社外取締役、日本学術会議 連携会員、総務省 情報通信審議会技術戦略委員会主査・委員、21世紀職業財団 IT 産業女性研究会主査 など。



東京大学医学部附属病院 バイオデザイン部門長 前田 祐二郎 氏

〔北陸フェムテックネットワーク 副会長〕

略歴: 医療現場のニーズからスタートする医療テクノロジー開発を提唱。東京大学でスタンフォード大学と連携した医療テクノロジーイノベーターの世界的コミュニティである“バイオデザイン”を運営。他に、医療テクノロジーインキュベーターのプレモパートナー株式会社の創業者取締役 CSO、医療・ヘルスケア領域に特化したベンチャーキャピタルの BD Fund 株式会社 代表パートナー & CEO、医療 AI スタートアップのアイリスのディレクター、医療法人社団こずえ会会長、東京薬科大学 特命教授、早稲田ビジネススクール 講師。歯科医師・医学博士。

